



UMTPの役割、試験の位置づけと概要

2006年2月28日

株式会社オージス総研 UMLモデリング部
竹政 昭利

1



OGIS UML 技術者認定 受験・合格者数 (2003/01)/(2003/10)

1998からの累積数

Level	合格者数	不合格者数	受験回数
Gold	1,021	2,373	3,394
	1,933	4,838	6,831
Silver	3,164	10,339	13,503
	4,483	18,760	23,343
Bronze	36,398	185,388	221,786
	63,552	311,359	374,881
Total	40,583	198,100	238,683
	69,998	334,957	404,955

2



UMTP設立の動機

- オージス総研 UML技術者認定制度
累積受験者数 24万人、合格者が4万人超える(03/1時点)
=> よりパブリックな認定制度へ
- 技術者のスキルレベルの標準化
- UMLの普及
- モデリング技術の普及
- 業務のベストプラクティスモデルの普及

3



UMTP設立

- 2003年5月19日設立(03/10 NPO認可)
- 設立発起人 21法人・個人
日本IBM、日立製作所、富士通、NEC、NEXS、NTTデータ、サントリー、日本オラクル
サンモアテック、キャッツ、テクノロジックアート、東芝、東陽テクニカ、日本ユニシス、
日本ラショナルソフトウェア、NRI、豆蔵、Aithent Inc. Japan.、ラーニングアーキテクチャ
研究所、堀内一東京国際大学教授、オージス総研
- 協賛
JISA, JUAS, ECOM, JAHIS, JCMA, CBOP
- オブザーバ
経済産業省
- 協力
中国武漢大学 ソフトウェア工学研究所、韓国高麗大学

4



UMTPの使命

- 本法人は、国内だけでなく中国、韓国などアジア諸国の関連団体などと連携し、地域におけるビジネス連携を容易とすべく、「**共通モデリング技術の策定**」と「**統一的なモデリング技術者育成とその技能認定の仕組の運営**」を通じて、わが国産業のグローバル化とアジア地域におけるソフトウェアビジネスの有機的連携確立を期すものである。

5



UMTPの事業

- ・ **認定事業**
 - ・ モデリング技術者認定
 - ・ 教材及びコンテンツ認定
- **モデリング技術普及事業**
 - ・ モデリング技術調査研究
 - ・ モデリング技術体系化とスキル体系
 - ・ 育成カリキュラム策定
 - ・ 技術者フォーラム
- **モデル共有促進事業**
 - ・ 各分野のベストプラクティス・モデル開発支援
 - ・ モデル登録と共有化支援
- **国際連携**
 - ・ UMTP Asiaの運営(中国、韓国、インド)
 - ・ OMGなど海外団体との連携

6



これまでの活動内容(1)

- **UML標準用語(UMTP UML用語集V1)策定**
特別タスクフォースで検討、策定
- **モデリング知識・スキル体系の定義**
L1-T1,T2, L2: 定義、L3: 継続中
- **UMLモデリング技能認定試験の実施**
L1-T1(2003/11),L1-T2(2004/3), L2(2004/10)
- **UMTP基準準拠のコンテンツ認定**
11書籍、6トレーニングコーステキスト、2Eラーニング教材、1ツール
教育パートナープログラム(検討中)
テキスト認定 2005年5月 開始



7



これまでの活動内容(2)

- **モデリング共有促進**
 - ビジネスモデリング勉強会
 - BPMN研究会
 - 組込み分科会、SoCモデリング研究会
- **定期セミナー開催; 大阪、東京**
- **「モデリング・フォーラム2004/2005」主催**
- **モデリングスキル、認定試験等の国際連携**
 - 韓国「Software Modeling forum」、BIT Campとの基本合意
 - 中国「武漢大学 UML ECC」、ASTI上海と合意、契約
2005/3/30 上海にて記者発表会、記念セミナー開催
2005/10/25大連モデリングセミナー 開催
2006/2/20・22UMTP、中国上海・北京にて「モデリングセミナー」開催
 - ISO、OMGへの提案活動

8



これまでの活動内容(3)

- **UMTP International 設立**
- **2006/2/10 UMTP認定試験(L1-T1 L1-T2)**
中国で実施
 - 韓国近日実施予定
- **2006/1 オフショアソフトウェア開発分科会発足**

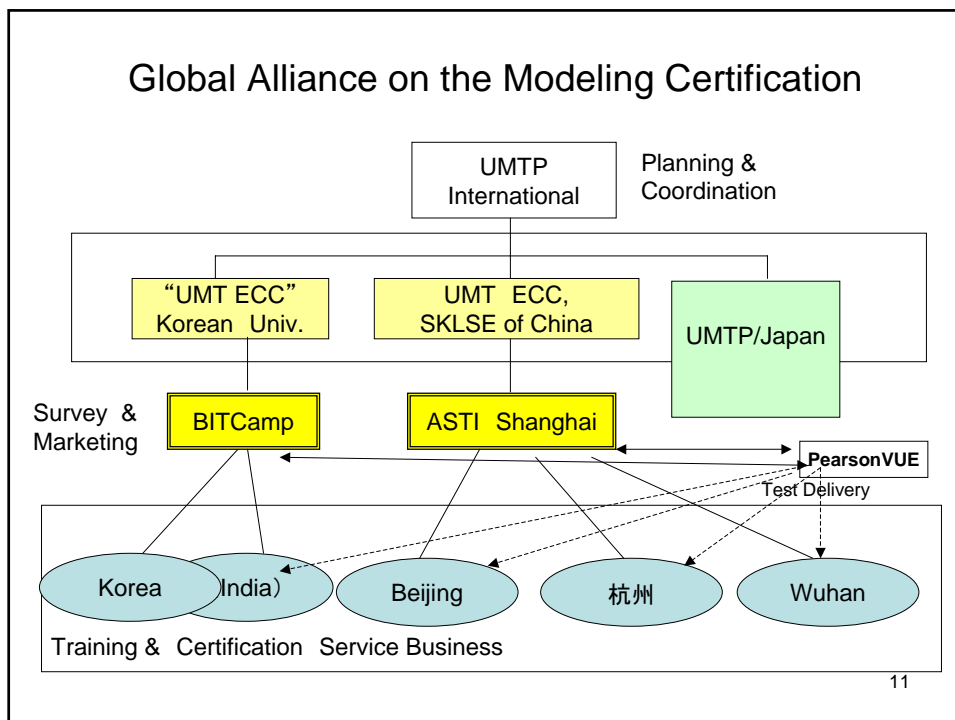
9




今後の活動予定

- **研究会開催**
 - BPMN研究会
 - 組込み分科会、SoCモデリング研究会
 - セキュリティ研究会
 - オフショアソフトウェア開発分科会
 - ビジネスモデリング勉強会
- **UML標準用語策定:**
UML用語集: UML2.0対応、英中韓日版リリース
- **L3 スキル定義とL3試験準備**
- **UMTP認定試験(L1-T1 L1-T2)韓国での実施**

10





UMLモデリング技能認定試験

- システム開発はもちろん、ビジネスモデリングなど広範囲でモデリングが注目されています。

しかし、これだけモデリングの重要性が認知されながら、今までモデリング能力を客観的に評価するものがありませんでした。

UMTP技能認定試験は、このモデリング能力を測るものです。

12

UMTPモデリングスキル・知識認定レベル

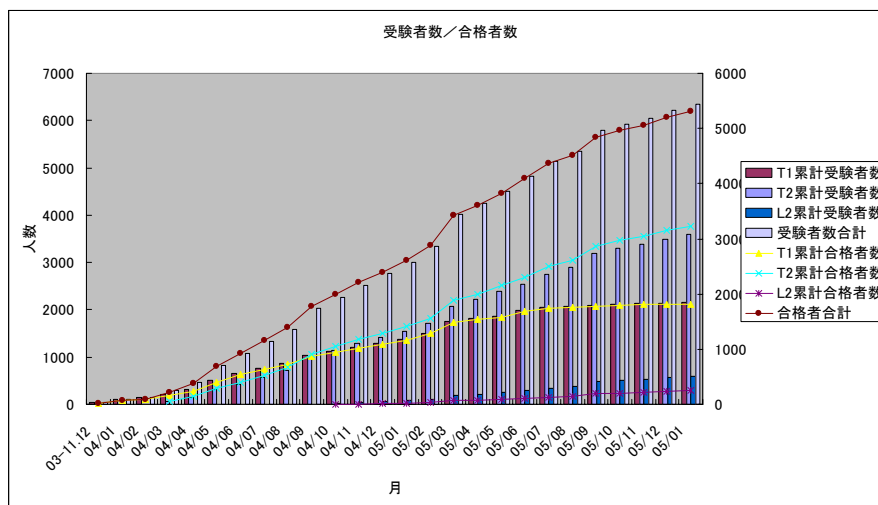
レベル	モデリングスキル	説明
 ↑	実践に基づいてモデリングを指導できる	・L3のスキルを有し、開発プロジェクトでモデリングを一定数あるいは期間実践した経験を持つ
	実務でモデリングが実践できる	・拡張性や変更容易性の点で高品質なモデルを定義できる ・ビジネスモデリング、分析、アーキテクチャ設計、組み込み開発を行うための専門的な知識を備えている(分野は選択)
 実施中	UMLモデルの読み書きが普通にできる(モデリングリテラシーがある)	・開発範囲の一部を担当し、モデリングができる ・他者のモデルの意味を理解できる
	簡単なUMLモデルの意味が分かる	・UMLなどを使ってモデリングを行う最低限の知識を持っている

T1: UMLの基礎知識 T2: モデリング基礎知識

13



受験者／合格者数



資格取得意向 (ベンダーニュートラル系資格)

- 今後取得を目指す資格として、回答者の19.7%がUMLモデリング技能認定を選択

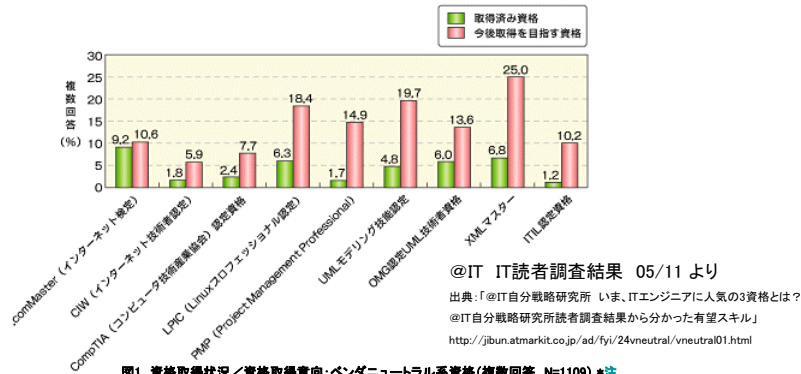
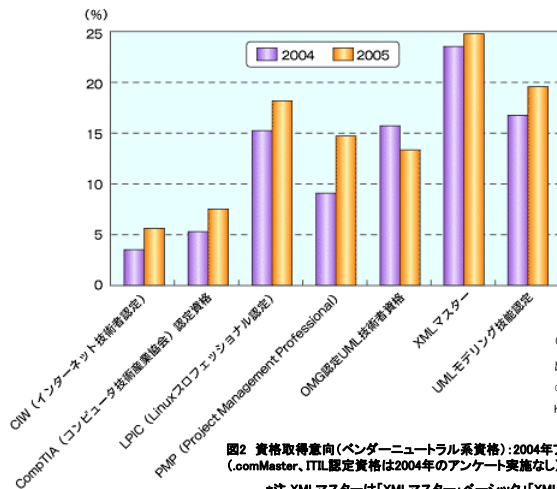


図1 資格取得状況/資格取得意向:ベンダーニュートラル系資格(複数回答、N=1109) *注

*注 XMLマスターは「XMLマスター:ベーシック」「XMLマスター:プロフェッショナル」の2試験の合計から重複分を除いたもの

15

資格取得意向 (ベンダーニュートラル系資格)



- 2004年のアンケートで判明した取得意向と比較。
- ほぼすべてのベンダーニュートラル系資格の取得意向が高まっている。

① IT IT読者調査結果 05/11 より
 出典:「①IT自分戦略研究所 いま、ITエンジニアに人気の3資格とは?」
 ②IT自分戦略研究所読者調査結果から分かった有望スキル」
<http://jibun.atmarkit.co.jp/ad/fyi/24vneutral/vneutral01.html>

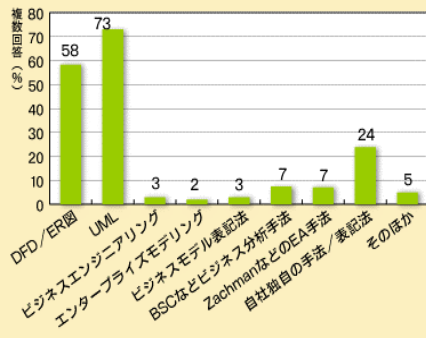
図2 資格取得意向(ベンダーニュートラル系資格):2004年アンケート結果(N=814)との比較 (comMaster、ITIL認定資格は2004年のアンケート実施なし) *注

*注 XMLマスターは「XMLマスター:ベーシック」「XMLマスター:プロフェッショナル」の2試験の合計から重複分を除いたもの

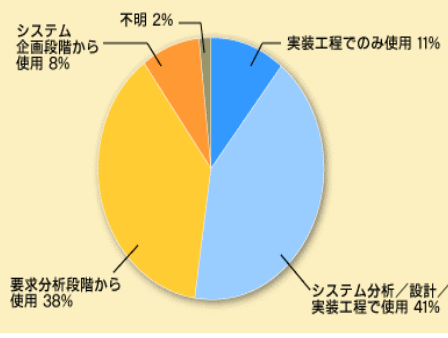
16

モデリングの普及

使用するモデリング手法



UMLの活用範囲



@IT IT読者調査結果 05/02/26 より

試験概要 (L1-T1)



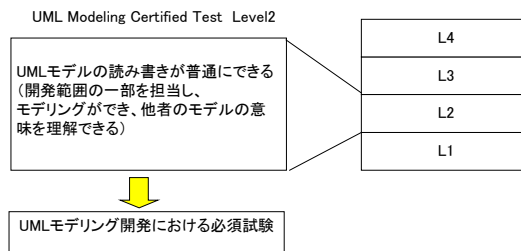
L1: 科目T1 (試験開始: 2003年11月25日) UML1.5ベース		
モデリングスキルレベル	簡単なUMLモデルの意味が分かり、UMLなどを使ってモデリングを行う最低限の知識を持っている。 OO基礎知識、UML入門的知識を問います。	
出題数	50問選択式	
合格点	40問以上正解	
試験時間	60分	
出題カテゴリ	カテゴリ名	関連するUML知識
	(1)モデリングを行う上でのオブジェクト指向の基本概念	-
	(2)要求モデリングの前提知識	ユースケース図
	(3)構造モデリングの前提知識	クラス図
	(4)振る舞いモデリングの前提知識	シーケンス図 コラボレーション図 ステートチャート図 アクティビティ図
	(5)実装モデリングの前提知識	コンポーネント図 配置図
	(6)その他の前提知識	パッケージ、ノート等

L1: 科目T2(試験開始:2004年3月15日) UML1.5ベース		
モデリングスキルレベル	UMLなどを使ってモデリングを行う最低限の知識を持っている。UMLを使ったOOモデリング初級スキル・知識、OO反復型開発プロセスの入門的スキル・知識を問います。	
出題数	30問選択式	
合格点	24問以上正解	
試験時間	80分	
出題カテゴリ	カテゴリ名	関連するUML知識
	(1)開発プロセス/モデリングの基本概念	—
	(2)要求定義モデリング	ユースケース図
	(3)構造モデリング	クラス図
	(4)振る舞いモデリング	シーケンス図
		コラボレーション図
		ステートチャート図
		アクティビティ図
(5)実装モデリング	コンポーネント図	
	配置図	
(6)複数の図を使用したモデリング	複数の図	

L2試験 UML1.5ベース		
モデリングスキルレベル	UMLモデルの読み書きが普通にできる(モデリングリテラシーがある)	
出題数	15問複数選択式(設問も入れると22~24問)	
合格点	正解率65%以上	
試験時間	85分	
出題カテゴリ	カテゴリ名	関連するUML知識
	(1)全般	
	(2)ビジネスモデリング	
	(3)要求分析	
	(4)構造モデリング	
	(5)振る舞いモデリング	
	(6)設計モデリング	
	(7)フェーズをまたがる問題	

L2はモデリングの登竜門

- L2はUMTP技能認定試験の中でも、モデリング技術の登竜門と言えるものです。



L2は、モデリングを使用した開発プロジェクトにおける一般的な開発者のレベルを想定しており、その意味でL2はモデリング技術の登竜門と言えるものです。

21

受験対策本

- 受験問題集
 - L1対応
 - 合格Expert UMLモデリング技能認定試験入門レベル (L1) 対応問題集 (技術評論社)
 - はじめて学ぶUML実践問題集 (ナツメ社)
 - UMLモデリング教科書 UMLモデリングL1 (T1・T2対応) (翔泳社)
 - L2対応
 - UMLモデリング教科書 UMLモデリングL2 (翔泳社)
 - その他<http://www.umtp-japan.org/data/01.html>

22



会員募集中

- 会員 80法人・個人(58法人、20個人)

- 会員種類

- ・ 正会員(年会費:団体 300,000円、個人 100,000円)
- ・ 準会員(年会費:団体 200,000円、個人 20,000円)
- ・ 賛助会員(年会費:300,000円)
- ・ 協賛会員(年会費:なし)(非営利団体のみ)

いずれも入会金はなし

- 会員のメリット

- ・ モデリング技術に関する情報取得
- ・ 研究会活動参加
- ・ セミナー、フォーラム等への参加特典
- ・ 認定試験受験料割引

問い合わせ先:

UMTP事務局

e-mail umtp-sec@umtp-japan.org

URL <http://www.umtp-japan.org/>

23



情報

- UMLモデリング試験概要

- ・ URL <http://www.umtp-japan.org/>
- ・ e-mail umtp-sec@umtp-japan.org

- 受験要領、申込

- ビアソンVUE(現在公開中のL1T1、L1T2、L2の全ての申込・受験可能:2006/2/20現在)

URL <http://www.vue.com/japan/>

- NTTデータ テスティングサービス (L1T2、L2のみ申込・受験可能:2006/2/20現在)

URL <http://www.nttd-testing.com/>

24